

国・行政のあり方に関する懇談会の全体構成

平成 2 5 年		
1 0 月 2 9 日	第 1 回	今回の検討に先立つ問題意識の整理 (例) 今回の懇談会で取り上げるテーマとして何が考えられるか？わが国の経済社会が今後とも持続的に発展していく上で、政府・国民に求められることは何か？
1 1 月 2 5 日	第 2 回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その 1） ～国民の意識の変化と民主主義の深化 (例) 国民の価値観・幸福感の多様化は、社会のあり方にどのように影響するか（共助の担い手の多様化（シェアリング、疑似家族等）や経済外的な価値の再評価など）？国民に、この国を支えているとの意識はあるか？新しい参加型の民主主義の可能性？
1 2 月	第 3 回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その 2） ～世界の中での課題先進国としての日本の責務と存在意義 (例) 人口減少に伴うダウンサイジングプロセスにおいて、社会経済構造はいかなる変革を迫られるか？持続的な経済社会を確保するためには、いかなる戦略が必要か？日本らしさの長所・短所を、どのように活用し、見直していくか？
平成 2 6 年		
1 月	第 4 回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その 3） ～安全保障環境の変化、潜在的なリスク (例) 大震災、感染症、テロ、エネルギー等の潜在的リスク、東アジアにおける国際政治環境の新展開（2 0 1 5 年、日中軍事バランスの逆転等）のなかで、何が求められるか？リスク管理機能をどのように強化するか？
2 月	第 5 回	経済社会に資する行政の革新とは何か？ (例) 業務効率化、国民の利便性向上のために、I T 化や I T ツールなどを行政にどう活用できるか？行政と民間の相互作用を通じて産業・地域の活性化に資する分野は何か？
3 月	第 6 回	現場でのサービスの改善、地域での行政のあり方 (例) 各行政機関間の連携や、更には行政と地域のプレイヤー（個人、企業、非営利団体など）が連携することで、地域における行政サービスの質の一層の向上を図れないか？
	第 7 回	社会における国や行政の役割をどのように定義するか (例) 個人の主体性を基礎とした社会（自助をベースとした共助・公助のバランス、地域の伝統的共同体、非営利団体等）のあり方をどう考えるか？その実現に必要な条件は何か？その上で国の役割をどう再定義するか？
4 月	第 8 回	国や行政がやるべきことは何か (例) 納税者による負担、長期的な国の持続性を踏まえて、何が必要か？国や行政が最後までやるべきことは何か？どのような基準で政府の活動を厳選・吟味すべきか？
	第 9 回	政府の効率化と機能強化をどのように実現するか？ (例) 近視眼的・硬直的なものでなく、未来を見据え、長期的視野に立った施策をどう実現するか？コストに見合った、より一層効果的な施策への転換を図るには、何が必要か？
5 月	第 10 回	“強い経済、安心な社会” の構築と政府の役割の再定義 (全体的整理)
6 月	予備日	